

I 選択的評価事項に係る評価結果

愛知教育大学は、「選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」において、目的の達成状況が良好である。

当該選択的評価事項Bにおける主な優れた点として、次のことが挙げられる。

- 刈谷市中央図書館との共同催事で「環境についての教科書と絵本展—ドイツを中心に—」を継続して実施している。
- 科学技術、理科・数学（算数）教育の充実を図るため、文部科学省が推進する「科学技術・理科大好きプラン」の一環である「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」の取組を実施している。
- 「高・大連携アカデミック・クエスト講座」を開設しており、大学の教員による特別授業を実施し、一定の履修条件を満たした生徒には正式な授業として高等学校での単位を認定している。
- 児童生徒の「理科、算数・数学離れ」、「ものづくり拒否」の問題の解決に向けた取組は、平成17年度に「科学教育出前授業等による学生自立支援事業」として文部科学省特色GPに採択され、「ものづくり教育」をはじめ多様な形態で実施されており、その取組の一つである「訪問科学実験」は、放送大学の「大学等開放推進事業 Jr. サイエンス事業」に採用されたほか、平成基礎科学財団の第2回小柴昌俊科学教育賞の優秀賞を授与されている。

上記のほか、当該選択的評価事項Bにおける更なる向上が期待される点として、次のことが挙げられる。

- 正規課程の学生以外に対する教育サービスは多様な形態で多角的に実施されており、優れた取組が多いが、一部の取組については参加者の増加が見込める方策の検討が望まれる。